

気候危機に対応する、  
「本市地球温暖化防止  
実行計画」について



秋山 幸子 議員

**質問**…気候危機が急速に進行している中、本市地球温暖化防止実行計画では、バイオマスなどの再生可能エネルギーへの転換が迫られていると指摘されています。大田原市新エネルギービジョンに、本市の豊かな農地や森林など未利用資源をバイオマスに活用することはエネルギーの地産地消の実現に有効とあり、進捗状況を伺います。

**答弁**…本市としては、地球温暖化防止や国土の保全、水源の涵養といった森林の持つ公益的機能の重要性を念頭に置きながら、優良な八溝材の産出を推進し、森林資源の循環利用を図ること、森の豊かさを実感でき、未来につながる森林の持続的なサイクルが維持できるように適切な森林整備に努めて参ります。

せることで森林生産者が収益を高められるように近隣の企業と連携を強化するなど、かじ取りをする考えがあるか伺います。  
**答弁**…平成29年度以降、売電による木質バイオマスの事業化が難しい状況で、進んでない時期が続いていましたが、令和3年1月以降、ノンファーム型の売電接続ができるようになりましたので、活用を進めて参ります。

一般質問



菊地 英樹 議員

GIGAスクールにおける  
ネットトラブルと個人  
情報について

**質問**…ネット上のいじめについて伺います。

**答弁**…インターネット上のいじめについては、学校外で発生するものがほとんどであり、発見が非常に難しく、対応が遅れてしまうことがあります。各学校

においては、児童生徒に対していじめは絶対に許されない行為であると繰り返し指導するとともに、もし被害に遭ってしまっ

た場合には、悩みや不安を打ち明けられる教育相談体制の充実を図り、いじめの早期発見と早期対応に努めます。

**質問**…情報モラルの教育について伺います。

**答弁**…令和3年3月にパソコン活用のルールを定め、学級等を単位とし、インターネットの特性や危険性、インターネットの正しい利用の仕方等を指導して

います。特に児童生徒に多い、インターネットを長時間利用することによる生活習慣の乱れやSNS上でのトラブル等に関しましては、身近な例を挙げて指導しています。また、児童生徒だけでなく、保護者を対象にした情報モラル教室を開催し、親子で情報モラル意識を高めている学校もあります。今後とも情報モラル教育の推進に努めます。